

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、佐鳴台圏域） 第3回会議 議事録

開催日時	令和5年2月27日（月）9時30分から11時まで
参加者	委員：13人 事務局：11人 その他：2人（国保年金課：2人）
場所	Uホール 24会議室
内容	<p>1. 開会</p> <p>2. 挨拶 佐鳴台・城北地区生活支援体制づくり協議体 会長</p> <p>3. 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について 報告【浜松市国保年金課】 浜松市国保年金課より、事業報告があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受診歴のない75歳以上の高齢者へ健康状態不明者としてアンケート送付を行った。本圏域の対象者へも送付し、連絡の取れない高齢者へは地域包括支援センターと連携しながら訪問をした。</li> <li>・対象者となる方は引きこもりや健康状態の高リスクの確立が高かった。</li> <li>・地域の集いの場、通いの場はフレイル予防3本柱の「社会参加」として多くの効果が期待される。</li> <li>・事業は浜松市内全域へと展開し、高齢者の健康状態把握を行っていく。</li> </ul> <p>4. 第2回協議体会議以降の地域での取り組みについて 生活支援コーディネーターとCSWより、地域の状況について紹介を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○福祉施設との連携について <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス付き高齢者住宅にて移動販売車が毎週火曜日に来ている。施設の利用者以外にも地域住民の利用をすすめていきたい。</li> <li>・今後コロナが治まれば施設内の食堂を地域の居場所として開放することを検討している。</li> </ul> </li> <li>○学生ボランティアについて <ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域内の専門学校より、学生を地域で活動させていきたい希望があることを確認。地区社協などの地域のイベントもボランティア募集があれば、学生の参加をぜひ進めていきたい。</li> </ul> </li> <li>○地域での買い物支援について（東上池川町） <ul style="list-style-type: none"> <li>・東上池川町で自宅へ移動販売車を呼んでいる方がいる。地域住民も利用しており、10名ほどが買い物をしている。</li> </ul> </li> <li>○地域での買い物支援について（広沢） <ul style="list-style-type: none"> <li>・広沢福祉協議会が中心となり、サロンの会場へ移動販売車を呼ぶことを検討している。今後、広沢福祉協議会、移動販売車担当者、市社協が打ち合わせをしていく。</li> <li>・広沢ではスーパーへの距離が遠く、広沢福祉協議会がサロンの参加者から買い物に困っているという話を聞いていた。</li> </ul> </li> <li>○地域での買い物支援について（和地山） <ul style="list-style-type: none"> <li>・和地山地区のサロン、シニアクラブ、民生委員が中心となり、移動販売車を呼ぶことについて検討。今後は自治会とも連携しながら開催場所などを検討していく予定。</li> </ul> </li> <li>○地域での買い物支援について（高町） <ul style="list-style-type: none"> <li>・高町地区のサロンの参加者より、買い物が不便であるという声があった。お店が少なく、バスの本数が減少しているためと思われる。</li> <li>・2023年中に新しくスーパーが高町でできると言われているが、その間の買い物の困難を解決したい。</li> </ul> </li> </ul> <p>●委員より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市社協や関係機関が把握している買い物支援について整理して説明が必要だと</li> </ul>

思われる。  
→令和5年度の協議体会議で地区内の移動販売について情報収集を行い、委員へ共有をする。

5. 各地区でのグループワーク

【佐鳴台地区】

○移動販売について

- ・自治会を通して周知が必要なのではないかと。場所が分かりにくいと、他に必要の方がいるコースを決めてルート化も考えられる。
- ・移動販売は買い物だけでなく、集いの場やおでかけのきっかけとしての目的も考えられる。
- ・移動販売のニーズは、①買い物場所がない。②家族に頼みづらい。③自分で見て選びたい。④生鮮食品がほしい。など多様化している。
- ・自身で好きな選択肢を選べるように、移動販売や宅配利用など紹介できるものを増やしておく。その利用方法を説明していくことも広めていく。

●買い物が困難な方はどれくらいいるのか。

○ベンチプロジェクトについて

- ・移動販売で買い物をしながら使うベンチとしても利用が考えられる。

●令和5年度 モデル作成・場所選定

令和6年度 助成金等を活用し、地域の活動として発足する

【城北地区】

- ・地域内で行われている移動販売や宅配サービスについて分かりやすい情報整理が必要。
  - ・城北地区内での移動販売がルート化されれば、見やすいマップとして周知がしやすくなる。周知方法もこの協議体で検討をしていければ。
  - ・移動販売は自宅に呼ぶこともできるが、車を停める場所や呼ぶまでのハードルが高い。地域としてそのような方でも利用できるように協力をしていきたい。
  - ・バスがあるような地域に見えるが、実際はバス停に行くまで大変な方の方が多い地域。買い物が不便な方も多くいる現状がある。
  - ・商店に地域住民が多く集まっている。民生委員の高齢者見守りの場としても活用をしている。
  - ・買い物支援は官民共同で進めていきたい。
- 買い物支援についての詳細なニーズ調査。

6. 事務連絡

特になし

7. 閉会 佐鳴台・城北地区生活支援体制づくり協議体 副会長

今後の見通し等

それぞれの地区で買い物に関する詳細なニーズを把握し、合わせた方法を検討したいという意見があった。圏域内のサロンや集いの場等へ引き続きニーズ調査を行っていく。